

ウッチーの
校長室だより
令和2年7月27日

春風接人



記録的な7月の長雨で、九州地方や岐阜県などを中心に各地で大きな災害が起きました。家が濁流に流されたり、大切に栽培してきた農作物が水に浸かってしまったりと、災害の映像を見るたびに心が痛みます。被害に遭われた方々へ、心からお見舞い申し上げます。また、緊急事態宣言が解除されたコロナウイルスですが、都市部を中心に再び増加傾向で、今後注視していきたいと思っています。

さて、学校では1学期のまとめの時期に入ってきました。教室を巡回すると、追い込みのテストをしているクラスが多くみられます。朝から30℃近くで蒸し暑い気候になってきましたが、冷房と扇風機のおかげで快適に問題を解いています。以前は、腕が汗ばんでテスト用紙がしわくちゃになることもよくありましたが、そのようなこともないようです。ただ、体育の授業から教室に戻る時は、お風呂上がりの団体さんのように髪の毛まで汗びっしょりになって戻ってきます。教室に戻ったとたん、「あー、すずしい。」と一言。これから真夏の授業が予定されていますが、涼しい教室で効率的に学習を進めていきたいと思っています。



1年生も頑張ってテストに取り組んでいます

校長室は、図書室の横にあるので子どもたちのにぎやかな声がよく聞えます。「やったあ。新しい本はいったんやって。」そう言って、勢いよく図書室に入っていきます。図書室で中学年の女の子に突然「校長先生は、小さい時どんな本を読んだんですか？」と声をかけられました。「ドキッ。」「ズッコケシリーズ。」とでも答えておけばよかったでしょうか。実は、私は読書とはまったく無縁の少年で、読むものといえば少年ジャンプぐらいでした。恥ず



かしくて言葉に詰まってしまいました。下校する時の廊下で、本を広げて読みながら歩いている高学年の姿を見ると、感心してしまいます。(本当は注意しなければいけませんが。)
「〇〇の本、面白かったよ。」と紹介できるように、私も今年は読書の夏にしようと思います。ご家庭でも、夏休みの課題は少なくなっていますので、お子さんと一緒に本を読む時間を作っていたけるとありがたいです。



もう一つの話は、歴代卒業生の写真です。「たしか？ここにお父さんがいるはず。」「どれ、どれ。」「お兄ちゃんもいるよ。」指さしながら会話が弾んでいます。昭和50年度卒業生から掲示してありますので、ほぼ私と同世代からの卒業生写真がずらり、本校卒業の保護者の方だったら全員写っています。小学校の頃のお家の人の姿、子どもたちはとても興味があるようです。

校長室にいます、キュッキュッキュ、バタバタバタ、ズックの音や廊下で呼び合う声などが響き、子どもたちの元気な様子が毎日伝わってきます。ありがたいことです。終業式の8月7日まで、もうしばらくです。1学期を元気に頑張って過ごしてほしいと思っています。なお、5日・6日の保護者懇談会では、学校でのお子さんの様子を担任からお話させていただきます。ご家庭で気になることなどありましたら、些細なことでも結構ですのでお話しください。